

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
コミュニケーション論		選択	1	1.2	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;「人間関係論」で学んだ自己理解と他者理解の基礎的見識を土台として、さらに具体的な人間関係について学ぶことを目的とする。主に心理学における対人コミュニケーションの知識や技法を学び、将来、社会人として円滑なコミュニケーションができるようになることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;Teams を用いた同時双方向型授業でコミュニケーションについて講義し、ワークや意見交換を通して具体的に学ぶ。</p>				
学習上の助言	人間関係をより良好に保つための基本と技術を学ぶ授業であることを理解し、積極的に授業に参加して欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	一人一人を尊重し、多様な人間関係について理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)	
②	コミュニケーションの基本的な概念や理論について理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)、(5)	
③	自分自身のコミュニケーション・モードについて理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)	
④	円滑な対人コミュニケーションの知識や技法について理解し、技法を身につけることができる。			HSU(1)、(2)、(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 コミュニケーションの基本を学ぶ。	同時双方向型授業	授業内容を復習する。	2	
2	言語的コミュニケーション(1) 言語による表現について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	3	
3	言語的コミュニケーション(2) アサーティブな表現について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	3	
4	非言語的コミュニケーション(1) 身体動作について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	3	
5	非言語的コミュニケーション(2) パーソナルスペースについて学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	3	
6	対人コミュニケーションの実際について学ぶ(1) 自分のコミュニケーション・モードを振り返る。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	3	
7	対人コミュニケーションの実際について学ぶ(2) コミュニケーション・ツールを意識した人間関係を学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	3	
8	総括を行う。	同時双方向型授業	これまでの授業内容を復習し、各自整理する。	10	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	5	25
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。				提出されたレポートは全体の総評を行い各自コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションレポートの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらおう。授業内でのワークや意見交換への取り組みについて評価する。				次回の講義の初めに、前回のリアクションレポートについてのコメントし解説する。ワークや意見交換については、実施後コメントを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>*Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 臨床心理士として 20 年の心理相談業務の経験を有する。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p>							